

筑大広報第 05-178 号

平成 17 年 12 月 15 日

筑波研究学園都市記者会 御中

筑波大学

筑波大学発ベンチャー株式会社アレナビオの設立について

本学では、大学発ベンチャー設立について積極的に支援を行っております。

本学発ベンチャーとして 44 社目となりますバイオアッセイ技術の事業化を目指す「株式会社アレナビオ」が別紙のとおり平成 17 年 9 月 13 日に設立されましたので、お知らせします。

なお、本件については、文部科学記者会にもお知らせしておりますことを申し添えます。

連絡先：株式会社アレナビオ

電話：029-850-5185

筑波大学総務・企画部広報課

電話：029-853-2040

報道関係者各位
プレスリリース

2005年12月15日
株式会社アレナビオ

筑波大学発ベンチャー 株式会社アレナビオ設立のお知らせ

筑波大学生命環境科学研究科の研究成果であるバイオアッセイ技術の事業化を目指し、筑波大学関係者及びつくば地域でのインキュベーション事業を展開するつくばテクノロジーシード株式会社の協力にて、株式会社アレナビオを設立いたしました。

当社は、筑波大学大学院生命環境科学研究科の研究に基づいた約20種類にのぼる細胞レベルでのバイオアッセイ技術を用いて、健康食品、化粧品或いは医薬品原料の動脈硬化、糖尿病、各種のガン、アルツハイマー、パーキンソン病に対する予防或いは治療効果、抗アレルギー効果、育毛効果、美白等の効果評価を確実かつ迅速に評価するサービス、またこれらのバイオアッセイ技術を用いた化学物質の環境毒性評価サービスを食品会社、化粧品会社及び医薬品会社等に提供して参ります。

また、上記サービスと同時に、筑波大学北アフリカ研究センター（ARENA）との共同研究の形で乾燥地植物資源の機能評価を行い、事業性ありと確認された新規資源については、さらに詳細な機能の研究、有効成分の構造解析、原料植物の遺伝子確認等を行い、権利化後に、食品会社、化粧品会社或いは医薬品会社等との共同開発の形で商品化することを計画しております。

当社初代社長には、現在筑波大学生命環境科学研究科博士課程5年の藤井壮一郎が就任致しました。藤井は2000年3月、三井化学株式会社を退職後、同年4月にバイオシステム研究科（修士課程）へ社会人入学し、修了後、現在は博士課程生命環境科学研究科にて植物遺伝子の研究を行っております。また取締役には実際にこれらのバイオアッセイ研究を行っている韓峻奎（筑波大学生命環境科学研究科博士課程修了）が就任し、主に受託試験及び研究開発を担当致します。また、筑波大学の関係者の方々には当社技術顧問に就任頂き、今後の協力・指導を受ける予定となっております。

<本件に関する問い合わせ>

株式会社アレナビオ 代表取締役 藤井 壮一郎
〒305-0028 茨城県つくば市妻木 210-4
Tel. : 029-850-5185
E-mail so-fujii@arenabio.com

株式会社 アレナビオ

Arenabio Co. Ltd

■ 創業理念

筑波大学の基礎研究成果である、細胞レベルのバイオアッセイ技術を活用して未利用天然資源を評価し、ヒトの健康に有効な成分を発見し、権利化をおこなう、ことを通して医薬、食品、飲料、化粧品の新規な原料を提供する。

■ 事業内容

1. バイオアッセイ技術を用いた生物資源の機能評価を受託する。
2. 新規なバイオアッセイ技術を開発、使用許諾、技術指導する。
3. 有効成分の豊富な北アフリカなどの乾燥地の植物の機能評価を行い、事業化可能な新規成分を発見、権利化し医薬品、食品、飲料、化粧品等の新規な原料を提供する。
4. 研究開発成果をデータベース化及び権利化し、情報及び実施権を販売する。
5. 英文論文の校閲

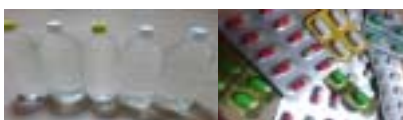
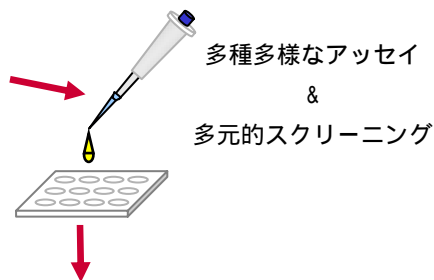
1. 受託事業

医薬、機能性食品、飲料、化粧品等に有効な機能の評価
生活習慣病予防やアンチエイジングに関する生理活性物質の探索
環境安全性

受託事業の流れ

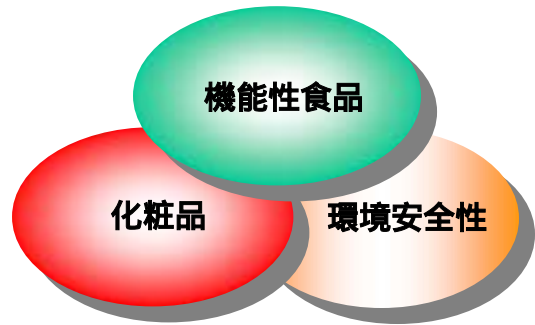


様々な生物資源



新しい生理活性物質の発見&商品化

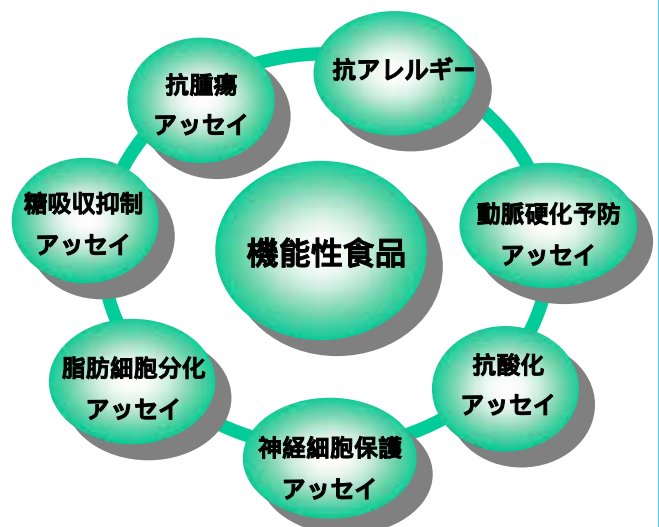
三大受託商品



生活習慣病という概念は、1996年公衆衛生審議会によって提唱された。生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群と定義されている。日本人の3分の2近くがこの生活習慣病によって亡くなっている。

アレナビオは既に構築した10種類のスクリーニング系を用いて生活習慣病予防に関する生理活性物質探索が可能である。

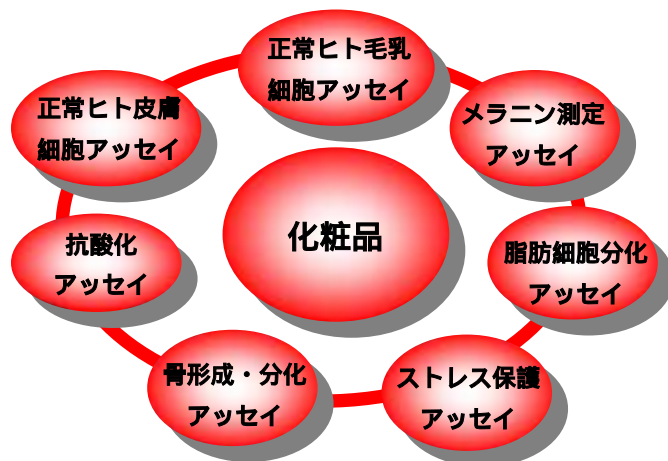
機能性食品に関する受託商品



現在、日本人の平均寿命は、男性の平均寿命は78歳、女性の平均寿命は85歳で、毎年延びている。我々人間の体は中年期以降、年齢とともに体の水分量やタンパク量が減少し、逆に脂肪分が増加する状態になる。更に老年期には臓器重量も減少する。このように年をとると、体の緊張感、張り感が弱まり、“老化”する。

アレナビオは6種類のスクリーニングを用いて美白、育毛等のアンチエイジングの生理活性物質の探索及び有効性評価が可能である。

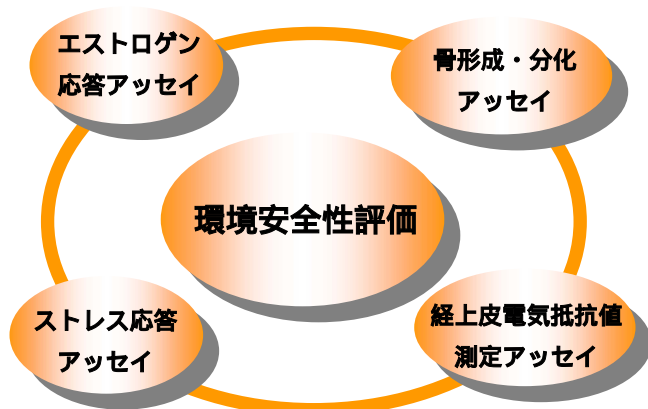
化粧品に関する受託商品



現在、多数の化学物質が使用され、水環境中に放出されており、微量化学物質によりヒトの健康・生態系への影響が懸念されている。特に、排水・下水、埋立地浸出水、塩素消毒水道水などの多様な成分を含有する水に安全性については大きな社会問題になっている。このような水環境の化学物質のリスクアセスメントのため、従来の個別化学物質ごとの水質管理システムを補完するものとして動物細胞を用いたバイオアッセイのような包括的評価が近年、注目を浴びている。

アレナビオは4種類のバイオアッセイ手法を用いて環境安全性評価を行っている。

環境安全評価に関する受託商品



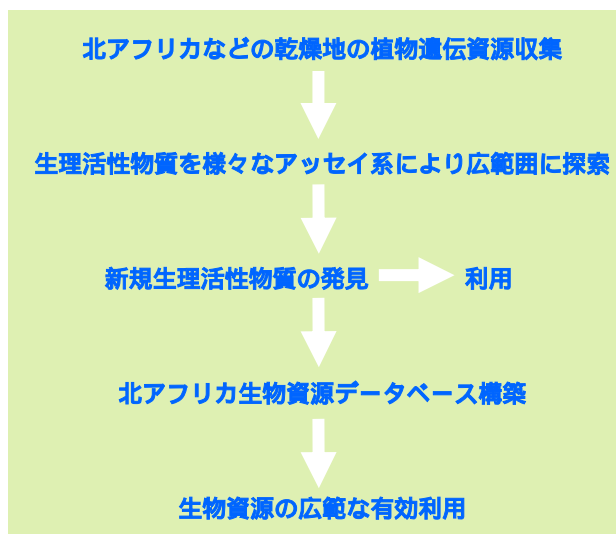
2. 新規活性成分の探索事業

乾燥地植物



北アフリカを始めとする乾燥地域は、抗ストレス、抗酸化物質を多量に含有するユニークで有用な生物の宝庫であり、新規生理活性物質が発見される可能性が高い。アレナビオと密接な関係にある筑波大学北アフリカ研究センターは、北アフリカ乾燥地生物資源からの有用成分の探査を、チュニジア政府との共同プロジェクトとして開始した。アレナビオは、発見した新規生理活性物質を権利化し、医薬品、食品、飲料、化粧品の原料として提供する。

北アフリカを中心とした乾燥地未利用植物遺伝資源の利用事業



株式会社アレナビオ

代表取締役 藤井 壮一郎
 取締役 韓 峻奎
 取締役 上原 健一
 監査役 小島 徹

茨城県つくば市妻木210-4
 つくばインキュベーションラボ内
 TEL. 029-850-5185
<http://www.arenabio.com>